

アルクカラ カンガエル

エイゾウ

イチ

ニセンジュウサンネンはるさくもつのサイバイをはじめた。わたしがちいさなころにさいていたタンポポがきになっていたからでもある。また、おやじがカテイサイエンをてにかけていたからでもある。

タンポポのくきのブブンからうえがなぜかなかったり。あとになって、シヨクリョウにリヨウされているのだらうとおもった。まあ、ちいさなピーマンのようだ。だからというか、いや、むかしからはえていたのできになった。で、サイバイをはじめた。

そのチヨクゴ、あるゲンジツとむきあうことになった。セケンというか、でうわさされていたが、まあジツサイにであうとだ。ノウギヨウヨウのヨウグをかいにいったサイにそれのみまわれた。

そうなってほしくないのはわかる。しかし、そなえなければいけなくもある。

ノウチのヒガイもタイオウをとおもっていたが、こいイツパツがこないかぎりそうきびしいタイオウはヒツヨウなさそうだと（チュウ…「コウサ」「チュウゴクからとんでくる」といわれていたが、イオウサンカブツだろう）。ニネンたつてそうおもう。

二

チュウリュウとはよくいったりすることばだが、チリテキなイミもふくめていうことにきづくようになった。そして、トシのナンモンというかにもきづいた。いまのトシはカリユウのホウにあつたりする。トシではセイサン（ノウギョウ）できないから、シヨウヒシヤということばがうまれる。

サン

ニセンジュウヨネンはるに、オンミツ（エドバクフのミツテイだ）のシツパイがあつたカノウセイをみつけた。オンミツはカクシヨでカツドウしていたとおもわれるが、まあ、エドバクフがひとつのケンエキをおとしたと。それはやがてナンポウへのシンシユツにもつながる。

わたしがいう、センシンコクビヨウ（センシンコクのジャクテン）にもカンレンするが、まあ、ダイエイテイコクにもつていかれたんだろう（チュウ…あるキにカンするケンエキというかである）。だから、エドバクフのジダイには、ニホンジンのナンポウシンシユツはケツテイテキだったといえる。そういうシツパイがうかがわれた。

ヨン

シツパイにこだわるとしたら、サイドチヨウセンするんだろう。キュウジュ

ウネンダイに そうしたシツパイを カイフクするようにしていたとおもうが（チ
ユウ…あるキにカンするケンエキである。グタイテキにいうと、カエデのである。）、
ケイザイコウゾウにながされやすかつたのだろう。セキユのホウに いてしま
つた。たしかに ジュウヨウなシゲンであるが。

やりなおすのは むずかしい。だから、くみかえさくもつや シンカロンを シジ
しなくてはならないかもしれない。「ヘイワ」がおわれば。

このジュウネンで くみかえは すすんだのだろう。ジュンスイな シュを ま
もるのは むずかしくなっているのでは。

ゴ

ジハンキは、このサンジュウネンで かなりふえたが、なつにつめたいのみも
の、ふゆにあたたかいのみものしか うってなかつたりする。ふゆでも、アイスコ

ーヒーをそういうことでない。ジヨウオンのものがなかつたり　ということだ。シヨウテンにたまにあるが、コウバイのむずかしさをかんがえると、「あなたはあたたかいコーヒーをのむべきだ」とケツロンされるかも。そのくらい「ジヨウオン」ののみものをコウバイするのはむずかしい。

しようがなく、あたたかいのみものとつめたいのみものをまぜていいオンドにさせたりすることになる。ま、ゼイタクといえはゼイタクだが、ネンリヨウのムダづかいというきがする。

なぜ、ジヨウオンではいけないのかと。ま、あつたかくて、うれしいときもあるのだが。たぶん、「センシンコク」として、ゆめのようなサービスをしなければならぬのだろう。

ま、テキリヨウずつまぜあわせれば、テキオンののみものができる。バイリヨウコウニユウすることになるが。そうか、シヨウバイだ。

はながさくジキさかないジキがある。イツコシユルイの ことをいつているのだが。でも、ま、はなの ツゴウなんだろう。さくジキが まちまちだったりする。ま、かんがえてみれば、いまは ふゆだといつても、みなみハンキユウのホウではなつだったり。ダイタンにいえば、どこかははるで、どこかは ふゆだから、あのはなは はるにさくといつても ゴサがでるんだろう。

キヨネン にわでさいた はなもよかつたが、ことしのもよかつた。とりもよい。ナナネンまえは、むくどりの すをみてたり。そういえば キヨネンのはる、むくどりきていたかな。アンガイキヨネンのはるは はとをよくみた。シゼンがおしえてくれる っていうのがあるかな。ノウサギヨウをやるようになってから そうですね。

シチ

わたしもそういうところがあるが、どこかしらに「あし」のモンダイがあるよ
うだ。ジドウシヤのことを「あし」とよんだり。トクにサツコンは ジドウシヤ
シヤカイ。そのキドウテキナ「あし」がないとこまつたり。みのまわりをみても
「あし」があつたりする。いす、タク。ヨウフウならねどこと。よつあしはヒ
ヨウジュンテキだが、たまにすごいのが、でもみたことないのでやめておく。
ま、セイヨウブンカというか やすつぽい まねされただと、よつあしのうえに
ねるだろう。ま、うしとか、うまとかのうえにねる「え」だ。それだけ シハイと
いうものが カクリツされている、されようとしている、されていた。セイシヨの
キジュツにあつた。ただ、いくらブンカテキナ ジュウドがあつたとしても、そ
の「え」のように セイカツできるのかと、とうてしまふ。

いぬをかつたことがあるが、それなりに アイジヨウをもつし、そういう「口

ウエキ」をよつあしにかけられるかと。ほかのドウブツで かんがえなくていい、ニンゲンでも、だれかがよつばいになっているうえでやすめるかと。ただ、その「え」をタッセイするようなセイヒンはなにもいわないだろうと。それはそれとしても、そういうタッセイを（あなたや わたしのタッセイではない。タブン。）あじわえるのだが、イワカンなくリヨウできるだろうか。

ま、シヨミンのブンカでないと おもってしまふ。

ハチ

おととし ゆずのきが のびていたので ていれをしようとおもったら、おふくろがさきにだれかにきらせてしまった。ケツカ とげができた。ばらも こうやって とげができたのかと ナツトクした。のばらにはげんに とげがない。とげがあるのも あるかもしれないが。

その「いかり」はイチネンほどではしずまらなかつた。ニネンハンほどたつたがまだのこっている。

キユウ

「キ」でまけたら、やっぱりまけになる。ここでの「キ」は、まけんキ などの「キ」である。ウンドウキョウギなどでのことだ。わたしはタツキユウでそれをかんじたが、ソウゾウというのもダイジなんだろう。かつソウテイでキョウギをする。まけキチヨウ(チヨウシ)になつてもねばつてかちキチヨウをとるもどすと。ニセンジユウサンネンにもそうおもつたが、キョネンもそう。アンガイ ニンゲンカンケイもそうかもしれない。

ダブリユハイ(セカイタイカイ)がロクガツにあつたが、それもおなじ。やわらかいたまをけるのではなく、モクザイをけるとかタンレンにはいろいろある。

ジユウ

セツスイ（みずのセツヤク）のドリヨクをキヨネンのはるにしていた。カンバツのケネンがあつたからだ。みずをうまくサイリヨウしたり、ベンジヨにながすのをへらしたりで、アンガイドリヨクができる。やっぱりベンジヨとフロとセンタクだろうか。ベンジヨはむかしながさなかつた（スイセンではなかつた）。フロもむかしはなかつたから、このふたつをセツヤクするとトウジつぽいリヨウリヨウになる。

フロのみずでベンジヨをながしたり、シヨツキをあらつたあとのみずでながしたりもできる。ケツコウシヨツキあらいいもシヨウリヨウですまない。ちやんとおけをよういしてあらうべきだろう。

ドリヨクのかいあつて、ノウギヨウヨウにみずをまわせたし、おもわれたカンバツにもならなかつた。フロおけイツパイのみずでイツカゲツはひとりブ

ンまかなえた。ま、ケツコウなドリヨクだから、トシカしたニホンジンにはむずかしいチュウモンかもしれない。

ジユウイチ

ちよつとさそいがあったら かんがえてみる。オンガクにさそわれたら、エイガにさそわれたら、(みるのではなくて) それをつくってみることを かんがえる。もし、あなたが ひまだったらだが、そういうことを やっているとタイクツしない。モチロン、すなおにみにいっても タイクツしないだろうが、おかねがでていってしまう。おかねをへらさずに、しかも タイクツしない。そうやって シュミはふえていくとおもう。カンセイケイに こだわることはない。じぶんなりにカンセイさせればいいのだ。

ジユウニ

はるには、シヨクブツのはがまつかにそまる。みなみハンキユウのあきだから、などとじぶんなりにかんがえる。おそぎきはななんかもあったりする。かんがえてみれば トウゼンで、ニンゲンのツゴウどおりに シヨクブツがうごいているわけではない。そういうヘンカもいとおもったりする。

でも、ま、みなれたのがいいとか おもうと そういうヘンカのブンを ていれしたりする。ま、なかなかヘンカに タイオウっていうのは むずかしい。まだまだベンキョウチュウ。

ベンキョウチュウだからたのしい。すべてを失ってしまうとクツウかもしれぬ。ま、そうなるのはダイタイとしよりになっただらうけど。

ジユウサン

あめがきもちいい。よくカエルがなくこえをきいたもの。しかしところによつては そうもいかない。そういう なぎこえを きけるところが へつているかもしれないが、そういうところを イジしてほしい とおもう。トシばかりふえても たべものうばいあいになるわけだから。ダイジにしたいものだ。

ジユウシ

くにのシユシヨウは いろいろなところについて はなしたりする。そこで、ワフク(ききもの)では どうかなどと おもつてしまった。ただのワフクではなくて、うごけるワフク。むかしは そういうかんじで サムエとか かんがえたかもしれないが、そういうワフク。ただのワフクだと ロウドウシヤっぽくない。だから うごけるもの。

ジユウゴ

フウセツテキなイリヨウジヨウホウがきらいだ。それをきいたひとは、なにかがなにかによい、とか、なになにをたべるとなにになりやすい、とか、そのジヨウホウをだれかにいつてみたり。よけいなおセワだ、とおもう。なにがなににいい、とかならまだいいが、そのてのジヨウホウは、ごジブンのあたまのなかにシユウノウしたままにしておいてくれって。

ダイタイイシャじやないんだから、セイブツガクシャでもないだろう。もとめられたときだけにしてくれって。「クンシ あやうきにちかよらず」である。

ジユウロク

めしにシヨウユをかけてシヨウユハン。くろずをかけてくろずハン（チュ

ウ…いわゆる「くろろず」でなく、「ソース」のことである。でもおいしいのはリョウリの「のこりじるをかけたごはん」。「のこりじる」というのではなきけないかもしれない。「あまつた たれ」といおう。だからどんぶりにするんだ。

ごはんのばあい、たれがのこったさらにごはんをうつして、たれをつけてたべるのがむずかしいからどんぶりになる。あげものをしたあとの あぶら（いもものをあげたのなら トクによし）をつかつて やきめし。これもうまい。

ジユウシチ

かきごおり、むかしはみどり、き、あか、とかぐらいのたれしかなかった。そのあと、あおとかむらさきがくわわった。でも、カテイで、シハンのたれをつかい つくれるようになってからは、かきごおりにかんするキョウミはうしなわれた。しかし、いまかんがえてみれば、あるくにて たべた、ギユウニユウと

くだものをのせたものはすごいとおもう。

ジュウハチ

おおきなソーセイジ（ベツないかたがあるがまあ）をたべた。ニホンジンなら、ちくわとかをたべるのがただしいか、かまぼことか。それができなかつたりするから、「アイデンテイテイ」だなんだのむずかしい はなしをするのだとおもう。

ジュウク

うまかったとおもう ヤタイリヨウリ ジョウイサンイは、イチイ、テンプラ（いわゆる、テンプラでなくて、ポルトガル「だとおもう」リヨウリとしての、テンプ

ラである)。ニイ、ハンバーガー。そういえばこのまえみかけたが、かうのをわすれた。サンイ、ぎょうぎ。やきとりもいいし、ステーキはあいにくたべたことがなかった。でも、やっぱり、ヤタイがそこそこキョウソウしているからうまいんだと。そういえば、さかなのしおやきもいい。とうもろこしをやいたものはサイキンみないような。

ニジユウ

しごとはジブンをたすける。しごとをしないとあたらしいしごとがあつたとしてもみのがしてしまいかねない。しごとをしないと、タイクツになって、シヨウヒシヤになりかねない。

はじめは、しごとっていったってあかじだろうし、ばあいによつてはかつてやるようだろう。しかし、そのしごとをやつていけば、タイクツしないしそのほ

かに そんなにかねをつかわない。タンジュンないかたをすれば、シユミがコウじてしごとになるような。わたしもオンガクとかやっていて、ロクオンしたものをつくれる。ほかには、ズイヒツをしたりで、こうやって ほんをつくれるようになった。ほかにも エイゴとか リヨウリとか また、セイヒンもつくっている。

しごとをしていれば うまくなるし そうすれば よりヒンシツのたかいものをつくれる。ほかにも あたらしいクフウをおもいついたり。なにもしなければ ないもできない。わたしは、しごとの「キ」をそだてて みがなる、というふうにおもっている。しごとをそだてると、はたさくも ショシンシャだが、いろいろあつておもしろい、はながさくときれいだし、みができればしめたもの。

ニジユウイチ

かかないと ジをわすれる。わりといわれることである。かといって ムダにか

いてもしようがないし。なら、からかきをしよう。ジをかくすぶりである。

ニジユウニ

わたしはなにかをタッセイするとマンゾクをおぼえたりする。いったことをやるというのはわりとよくあることだ。でも、チュウガッコウで、いったエイゴのモンクはいまだにタッセイしてなかつたり。「アイプレイテニス」なんかはそのテンケイである。「アイプレイギター」はタッセイしたがたまうちのホウは、タツキユウ（テーブルテニス）はやったりするものの、タッセイはされていけないとみるべきでは。

だからそういうエイゴキョウイクをカイゼンしたホウがよいとおもう。「どうせ、うそだろ」じゃしようがないのである。いつかたまうちをタッセイしようとおもっている。こういうわけでニホンのエイゴキョウイクはコクサイテ

キにサイテイときれているようだ。

ニジユウサン

まえに みずのセツヤクをしている はなしをした(●ジユウ)。センタクもそのドリヨクのイチブである。センタクキをまわせばそれなりにきれいになるが、みずをセツヤクしているときの キジュンからいうと、ハツカブンとか つかつてしまう。だからであらい。でも、センタクにつかたみずをながさないで、サイリヨウするホウホウもあるが、テキトウな ホゾンヨウキがなかつたので、センタクにつかたみずの サイリヨウはできていなかった。

どうせなら センザイをつかわなくてもある。タンジュンな シゼンケイのセンザイならいいが、そういうのは みつからない。そのまま はたけとかに まければいいのだが。タンジュンな よごれは まあまあおとせるが、カガク(ヤクヒンな

ど)よごれはなかなかむずかしい。それをどうおとすかが コンゴのカダイである。

ニジュウヨン

サイキンのデンサンキ(モジをうったり、ブンシヨウをおくったり、インサツしたり、かいものをしたりする あれである)はふたつのサギヨウをドウジシンコウさせるらしい。それがすごいのかというと、まあ、しごとができる、はやい、ということなのだろう。

しかし、ジュウキウセイキのエイコクでは、みつつのしごとができるひとがシツギヨウしていたらしい。だから、タンジュンにいえば、ふたつのサギヨウでも、みつつのしごとでもだめなんだろうと。だめじゃないんだけど、それじゃシツギヨウシヤのなかまいりと。

じゃあよつつかなのだが、そういうデンサンキもあるようだ。だからよつつのしごとはいまのキホンといえそうだ。ただ、いつのダンカイで、ふたつのサギョウをするデンサンキを、シツギョウさせるかはわからない。

ニジユウゴ

さきに、みつつのしごとができるじゃあまいとかいた。ゲンザイはよつつのサギョウができるデンサンキがあり、また、ニンゲンもよつつのしごとをできるぐらいがジユウキユウセイキのエイコクのキホンだったようだ。たしかによつつのしごとはできなくない。しかし、よつつのサギョウができるデンサンキに、ぼううで（ロボットアーム）をつけたら、ニンゲンのロウドウシヤがシツギョウしかねない。だってユウシユウなんだから。ガツコウでまなぶジョウホウもちいさいキロクブヒンにおさまってしまううし。

じゃあ どうすればいいかというと、やっつのしごとをすればいいんだろうと。「デンサンキをこわせ」じゃ「またか」になってしまふ。センジュカンノンのえがうかぶ。かしこいひとは、デンサンキからまなんでいるんでしょうね。

ニジュウロク

もし、あしたにダイハカイ（とんでもない ソウラン）がおこるとしたらもうくにはやくにたたない。ダツシユツヨウのウチュウセンがハイビされているとは きかないし、もし ひがしがわのくにでも、ドクジに ダツシユツをこころみるのだらう。そういうイミでの「コツカのおわり」はカクジツそうだ。

ニジュウシチ

なつかしいあじ。おいしいよりも、そういうあじがカチがあるかもしれない。カテイリヨウリのデンシヨウがおこなわれていなければだけど、デンシヨウはなかなかむずかしかったりする。

あるときニセンジユウヨネンのゴガツだ。あげものをした。タンにあぶらのシヨウミキゲンぎれがちかづいていたのでやったのだが、なべをイロリのようなところにおいてすこしずつあげる。あげものはだれかがタイリヨウにあげてでなく、それもいいんだけど、すこしずつあげてたべるのがいい。ケツキヨクなべぶぎようのようなひとがはしをもつにしても。

えびをあげたり、やさいをあげたり。いいあぶらをつかうのがこつですかね。つけものをヨウイしておくですっきりする。もちもいいうまくやればいためごはんもできます。あと、だしのたあぶらはおダイジに。おいしいですから。

ニジユウハチ

きられてきずついた ゆず（●ハチ）。イチネンたつて、ちよつとだけみがとれそうだった。それをわすれてセンチイしてしまい、そのちよつとだけのちいさいままの しゅうかくのみとなった。でもにおいはするしほんものである。それをみずにいれて そのみずをのんだ。うまい。ラムネとか レモネードとかいうけど そういうことだ。「ラムネ」はライムを、「レモネード」はレモンを。ゆずだから ゆずすいにしとく。あとから あじつけをしてもいいが そのままがうまいかな。ゆずブロもいいですが、ネンカンとおしてのめる ゆずすいもいいと。ま、シハンのもできますが。

ニジユウキユウ

キというのは、ホンライテキに、したのホウのみきが ロシユツしているのかと。しつかり カイソウテキになった キは みごとだが、ニンゲンが てをつけて

しまつて、したのホウが ロシユツするのではとおもう。だからうえのホウにハンモすると。もし、ニンゲンがてをつけたとすれば、なぜはしごをつかわなきやみかとれないかたちにするんだらう。はしごやのサクボウか、つておもう。でもかうホウもわるいんだな。

サンジユウ

サイキン、シヨウユヤソースをかけて（ごはんにでなく、おかずに）たべることをしていいない。たれがあるところがうのだが、それをいうなら、チュウカそばがヒジヨウにもつたいないともう。あれ、しるをのこすひと おおいでしょ。ゾウスイみたいにしてたべればいいけど、はやらないのか。

チュウカそばのたれはいろんなリヨウリにつかえる。タンにコクモツをたべるだけでなく。うみをわたると、そばのうえにギユウニクをのせたりするが、

そういういいものにあのたれをつかいたい。やきぶたもわるくないが、さかなとかにもいいたれでなからうか。あじのみそだれとか、さばのとんこつふうみとか。もうひとついいたれがありますが、それはナイシヨ。

サンジユウイチ

「のばら」や「ます」（たしかシユーベルト）などのキヨクがめざましドケイにキロクされていたものをつかっていた。そういうのを つくろうとおもえば つくれるんだらうけど、ケイタイデンワで やるてもあった。そのホウがてつとりばやい。

ジュウゴネンまえの ケイタイデンワで それができて、サイキンのだと ガツシヨウまでならせる。さすがにそんなユウガなキブンで おきたいとおもわな
いが、「ゴシユジンさま、キシヨウのおジカンです」とかなまごえをキロクし

ためぎましができそう。まあ、もっとゲビたかんじで やったほうが いいんだ
ろうけど。

サンジュウニ

ゆずすい(●ニジュウハチ)のかわりに、たまたまてにはいらなかったので、
りんごすいをつくった。まあ、これもうまい。ただ、あまりすっぱいのだと
さげなくなってくるので、すっぱいのはなにか たしたホウがよいとおもわれ
る。

サンジュウサン

ニクとニクじる、どっちがダイジなのかと。やっぱりかたちというか シツ

リヨウのおおきいホウが ダイジなんだろう。なにしろ ニクだから。だからといって ニクじるもすてがたい。でも、かつおだしとかで、ニクのホウを ダイジにしなかったから（ほかのリユウがあるにせよ）ニホンジンは タイカクが ちいさかったんだろう。いまは カイゼン チユウか。ヘンに ニクのおぶらみを ありがたが ったりして いる みたい だけ だ。 わたしは しも ぶり より あかみ へ です。

サンジユウヨン

「チンモクはキンなり」と、わかいころは そんな こと ばも わす れて なにかし やべろ うと したり。 いま だも つい しやべり すぎ た っ て い う の は あり ます が。 ケツキヨク なにも ない の が よし で、 それ を おも んじ る と。 なか なか、 なにも ない、 にも つて いけ なか っ た り。 だも、「か が やき」は ひと を だま らせ る と い う フウ に も かん が え ら れ る。 だも、 ニンゲ ン っ て、 しやべり だ した ら ケンカ す る ぞ っ て

いうカクゲンかもしれない。それぞれですからね。

サンジユウゴ

もし、ひとがキンだったら、いえは「キンコ」。たくさんはいる「キンコ」もあるし、あまりはいらない「キンコ」もある。でもいい「キンコ」は、いい「キンコ」なんだろう。でも、リュウツウというか、たまには そとに でまわっている かんじがいいですね。

サンジユウロク

オンガクをやりはじめて ニジユウネンイジヨウたつ。ゴ、ロクネンまえから、わりとふつうのオンカイは そこそこひけるようになって、ハンオンあげたり、

さげたりの レンシユウをするようになった。で、ジブンなりの リロン というか オンカイをかんがえたり。で、イツコ おもしろい オンカイをみつけた。ま、キカイがあれば ヒロウするのも。

カラオケというのは、エンギみたいなので すきでないが、ドクソウするのにいかも。ドウヨウみたいなのは なつかしくおもう。カラオケじゃ、モホウにすぎない。ツイカテキな「ドクソウ」なら、いいしごとかもしれません。

サンジユウシチ

ダブリユハイサッカー。キヨネンは ジカンがなくて あまりみることができなかつた。ま、ゴネンまえの タイカイでは ちよっと ネットをいれてみていたが、キヨネンのはである。ま、ニカイセンに いけるかぐらいにおもっていた。でも、いけなかつたみたいだ。

「カップ」というのにゲンブツは「カップ」じゃなかったり。だからスープとかさげとかあれつかつてのめないな。

サンジユウハチ

めしとヤサイもり（チュウ・「サラダ」といわれるあれである。）をカゴウさせたらどうなるか。ヤサイずしとはいわないか、でもそういうフウミになる（タングジュンな たれをつかえばトクに）。ヤサイぎらのホウにニクがあれば、ケツコウなごチソウに。ちらしずしとか。それにきづいてからしばらくは、ごはんとヤサイもりがでるたびに、すしにしてたべていた。くろずめしもなかなかうまい、いわゆるくろずでないのですが。

サンジユウキユウ

ケツキヨク、たたかいつていうのは、くにとか おおきいもの のためにでなく、
アイしたちいさなもの のために たたかうのではないか。だから くへのへい
には キュウリヨウがヒツヨウなのだろう。

ヨンジュウ

ゼンコウ、よいおこない、をつみなさい、とおもう。アクギヨウより ゼンコ
ウのホウがいいし。タンジュンに キゾウしたり、ロウドウリヨクを だしたり。
ジブンにも まわってくれば たすかるし。ま、ゆずれないブンはあるけど。

ヨンジュウイチ

おとなになるっていうのは、あるブンを ダツピすることだとおもう。ま、こ

どもよしのブンカとか、ミジクなブンカとか。キヨクロンすると、キヨウイク
でうけたナイヨウからもダツピしたホウがいいだろう。ナイヨウと
いうわけは、キヨウイクでうけたガクシユウするよなギジュツは
ダイジにしたホウがいいとおもうからである。

ナイヨウはどうせだれかがかんがえたことで、デンサンキの
ユガタキロクブヒンにおさまってしまうよなことだからである。
わたしやあなたがかんがえたことでないし。ぶつぶついつて
あそびたきや、キヨウイクテキななにかとあそんでいるのも
いいかもしれない。

ヨンジュウニ

「にが」というのみのものをつくった（チュウ…あるシヨク
ブツのはをつかつた）。おチャとはまたちがつたかんじで。
ただホゾンにはいろいろなやりか

たがあるのだときづいた。トウキにいれておけばハツコウしたりするし、すきとおった、トウキ、いわゆるガラスではあまりヘンカしなかったり。ハツコウしたものはつかいみちがまだおもいつかない。

ヨンジュウサン

ノウギヨウをやつて、Laissez Faire (ジユウホウニン) がダイジなんだとおもう。そりやそれぞれのジジヨウがあるし。ダイコンなんかもほうっておいたらたねができて、しっかりそだっています。へんにてをくわえないというか。

ヨンジュウヨン

そういえば、くみかえさくもつをつくっているところがあるんだ。まあ、シユ

ウリヨウをあげたいっていうのはわかるけど、ちよつとのくみかえでもビンカンなひとはどうかとおもつてしまう。わたしもそういうのをイツカイそうじしました。シヨウクブツドウシのエイキヨウもあるみたいで。

でも、ジュンスイにこだわつていけばシユウリヨウがおちるんだとおもう。シンカをみとめればシユウリヨウはイジだけどもとめなければおちると。それなりにていれをするわけだから。ま、またかんがえたい。きにしなきやだけど。

ヨンジュウゴ

おとなのフットボールとはどんなものか。あいてのゴールに、「ゾウトウヒン」、さけとか、ハムとか、ゴミとかをうちこむ。ゴミじゃないホウがいい。でも、セイキウシヨがとんできたならソシしなくてはいけない。ニホンのセンシュがハ

イタイしてイチネンハンたとうとしているが、もうつぎのヨセンをやっている。ただ、シヨミンにとってダイジなのは、おとなのフットボールだ。

ヨンジュウロク

おふくろのでリヨウリはなつかしい。でもとしがたつにつれシンカしたとおもう。なぜかよくつくっていたリヨウリはコンビニエンスストアのソウザイのふくろづめとしてならべられたりして、ま、つくるひとがかわっただけだが。ベンリになったことといえば、チュウカフウのリヨウリならたれをかってきてつくれたり、なべものもつゆをかってきてつくることができるようになったこと。おこのみやきがたべたかったが、それももどがあつた。たこやきのもあるんだらうか。

ヨンジュウシチ

なぜ、コウセイシヨウ（ギョウセイキカン）が、コウセイロウドウシヨウにかわったか。「コウセイ」をあるテイドしたら、つぎは「ロウドウ」をしてくださいと。ケイサンシヨウもそうだ。「ケイザイ」がよくなったら「サンギョウ」してくださいと。ま、「ロウドウ」も、「サンギョウ」もしているかな。だから、「ノウギョウ」をがんばったら、「スイサン」もしなくちやまずいかな。イチオウ ヨウシヨクのジツケンは しているけど。

ヨンジュウハチ

なぜ「ベッド」なのか、ねるのにつかうのです。ふとんでもいいはずだが。よつあしだったり、むつあしだったり。よつあしって、うしとかのうえでねる「え」

ですわ（●シチ）。おれはそんなにできたひとじゃないとなればおりのしかない。ふとんでジュウブんと。セイヨウテキナというかシハイによってカノウになるんですかね。ベツにキリストキョウトじゃないからたみにねないです。ゲンダイの「ふみえ」かもしれせん。いすもそうですね。やっぱりザブトンですかな。

ヨンジュウキユウ

なぜかみにかいていたシヨをパソコンでうつようになつたのか。どうでもいいブンシヨをかいていたうちはきづかなかつたが、ひとつ、コウセイするてまをはぶくためだとおもう。たぶんジドウコウセイキノウをたよりにつてことなんだろう。

ゴジがみつかったらとかちよつとレッカしたらジドウテキにシユウセイ

すると。そうすれば、てまがはぶけると。しかし、ヒョウケイサンキノウはあてにできない。なぜならひどくジドウシユウセイのケツカかはわからないが、レツカしてしまつたから。それならかみのホウがアンテイしていますよ。タシヨウコウセイするのはくせとしてのこしておいたホウがよいとわたしはおもいます。

ゴジユウ

セイヒンのリョウがおおいとカンリがタイヘン。だから、レキシをとじてしまつて、おなじセイヒン、シユリヨクセイヒンだけをつくつたりするのだろう。でも、わたしはまだ、レキシをとじようとはおもわない。レキシをすすめていゝるホウがたのしいから。

エイゾウ

アルクカラ カンガエル シドクバン

Iitoga db001-7

ニセンジュウゴネンジュウニガツミツカ

ニセンニジュウニネンシチガツジュウナナニチ



エイチテイテイピーコロンスラツシユスラツシユアイアイアイアイアイアイアイアイアイ
ーピリオドショーエム
テイエスユーエスエイチアイエヌアットマークアイアイアイアイアイアイアイアイ
ピリオドショーエム

